

[問題1]

社会資本整備重点計画は、社会資本整備重点計画法に基づき、社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に推進するための計画です。

令和3年5月に閣議決定された第5次社会資本整備重点計画は、令和3年度から令和7年度までを計画期間とし、今後進むべき社会のあり方を見据えたうえで、その実現に資するような社会資本整備を進めていくこととされています。

そこで、第5次計画の期間内で達成すべきと示された6つの重点目標のうち、「インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)」について、具体的な取組みやその内容を5行程度で述べなさい。

[問題2]

第5次社会資本整備重点計画では、重点目標や重点施策に対して、代表的な指標をKPI(Key Performance Indicator)として位置づけ、その達成に向け、社会資本整備のストック効果を最大限発揮させるため、「3つの総力」と「インフラ経営」の視点が追加されました。

(1)

社会資本の整備による効果として示される「フロー効果」と「ストック効果」について、それぞれどのような効果か、具体的な事例も交えて5行程度で述べなさい。

(2)

ストック効果を最大限発揮するための以下「3つの総力」①～③のうちから、1つを選択し、その取組みが必要となった背景及びその効果を明らかにしたうえで、あなたの考えを5行程度で述べなさい(解答は、選択した番号(①～③)を記入のうえ、記述してください)。

「3つの総力」

- ① 様々な主体の連携による「主体の総力」
- ② ハード・ソフト一体となった取組みや新技術の社会実装などの「手段の総力」
- ③ インフラの整備だけでなく、将来の維持管理・利活用まで見据えた取組みを行うという「時間軸の総力」